

# 2023年12月期決算(連結)参考資料

2024年2月14日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<https://www.greenland.co.jp/ir/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

# 目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 2023年12月期決算         | 3  |
| 2. 2024年12月期業績予想       | 7  |
| 3. 業績推移                | 8  |
| 4. 第45期(2023年12月期)期末配当 | 9  |
| 5. 2024年の取り組みについて      | 10 |

# 1. 2023年12月期決算

## ① 連結決算概要

(単位:百万円)

|                     | 2023年 | 2022年 | 増減  | 増減率   |
|---------------------|-------|-------|-----|-------|
| 売上高                 | 6,406 | 5,732 | 674 | 11.8% |
| 売上総利益               | 1,535 | 1,368 | 167 | 12.2% |
| 営業利益                | 888   | 763   | 125 | 16.4% |
| 経常利益                | 891   | 820   | 71  | 8.7%  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 463   | 428   | 35  | 8.2%  |

### 【概況】

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の収束ならびに「5類感染症」への移行に伴って経済活動が活発化するにつれ、次第に個人消費やレジャームードが高まってきたことを背景に、当社グループとして積極的な集客施策に取り組んだ結果、九州の遊園地を中心に、各施設の利用者数は好調に推移いたしました。

以上により、当連結会計年度の業績につきましては、売上高、各利益項目とも前連結会計年度を上回る結果となりました。

## ② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

|           | 売上高   |       |     | セグメント損益 |       |     |
|-----------|-------|-------|-----|---------|-------|-----|
|           | 2023年 | 2022年 | 増減  | 2023年   | 2022年 | 増減  |
| 遊園地事業     | 2,922 | 2,666 | 255 | 906     | 882   | 24  |
| ゴルフ事業     | 1,073 | 1,062 | 10  | 112     | 110   | 2   |
| ホテル事業     | 1,933 | 1,494 | 438 | 123     | △26   | 149 |
| 不動産事業     | 162   | 165   | △3  | 103     | 90    | 13  |
| 土木・建設資材事業 | 315   | 342   | △26 | 40      | 61    | △20 |
| 消去又は全社    | —     | —     | —   | △397    | △354  | △43 |
| 合計        | 6,406 | 5,732 | 674 | 888     | 763   | 125 |

## 【遊園地事業】

**売上高**：九州の遊園地は、春のフロアイベントやオリジナルショー、当園史上最大級となる花火の打上げなど、年間を通して多様なイベントを開催しました。

また、夏季プールの営業エリア拡大のほか、話題性の高いお化け屋敷「ホラータワー 廃校への招待状」をリニューアルするなど、更なる魅力度向上に努めるとともに、デジタル園内マップ導入や海外OTAを活用した電子チケットの販売など、積極的なDXの推進により、一層のサービス拡充に取り組みました。

北海道の遊園地も、話題性の高いキャラクターショーのほか、大規模な花火大会、北海道最大級の野外音楽フェス「JOIN ALIVE(ジョインアライブ)」、ご当地アイドルフェスティバルや脱出ゲームイベントなど、バラエティに富んだイベント開催で幅広い層の集客を図りました。

この結果、売上高は前期比255百万円増収(+9.6%)の2,922百万円となりました。

**セグメント利益**：売上高の増加に伴い、前期比24百万円増益(+2.7%)の906百万円となりました。

## 【ゴルフ事業】

**売上高**：グリーンランドリゾートゴルフコースでは、特色あるオープンコンペの開催や、コース改良・コース整備にも鋭意取り組み、また、韓国からのゴルファー客にも大きな回復が見られるようになり、新たなゴルフツアー送客エージェントとも契約を締結するなど、万全の誘客体制を整えました。

両メンバーシップコースでは、メンバー限定の特典付与やクラブ主催コンペのルール見直し等による集客拡大を図り、また、ロッカールームや大浴場の改修など、施設の拡充を行うとともに、利便性の高いウェブ予約の活用により、ビジター客の獲得にも注力いたしました。そのほか、環境に配慮した自家消費型太陽光発電システムを導入して、利益向上に努めました。

この結果、売上高は前期比10百万円増収(+1.0%)の1,073百万円となりました。

**セグメント利益**：売上高の増加に伴い、前期比2百万円増益(+1.9%)の112百万円となりました。

## 【ホテル事業】

**売上高**：九州のホテルブランカでは、抜群の利便性の高さを全面に打ち出し、利用者のニーズを的確に捉えたプラン造成により利用者拡大を図るとともに、料飲部門においては、鍋バイキングや中庭バーベキューの拡充による顧客満足度向上を図りました。九州のホテルヴェルデでは、付加価値の高い宿泊商品を造成するとともに、自社ホームページやOTAを活用したPRを行い、収益拡大を図るとともに、料飲部門や宴会部門においてはメニューの充実化やPR強化による集客を図りました。そのほか、大規模な改修工事に加え、各種の館内設備の更新を実施することで、景観向上や快適性向上による顧客満足度の向上を図りました。

北海道のホテルサンプラザでは、ビジネス客の利用促進を図り、また、近隣ゴルフ場と連携して、韓国からのゴルフツアー客を取り込むなど、新たな宿泊客層の獲得を図りました。料飲部門においては、魅力あるメニュー展開で利用拡大を図りました。

北海道の北村温泉ホテルでは、温泉の強みをPRし、天然温泉の利用拡大を図りました。

この結果、売上高は前期比438百万円増収(+29.4%)の1,933百万円となりました。

**セグメント利益**：売上高が好調に推移し、123百万円のセグメント利益(前期は26百万円の損失)となりました。

## 【不動産事業】

**売上高**：一部の既存テナントの賃貸料改定を実施したものの、前年4月末にコンビニエンスストア「セブンイレブン」に係る土地賃貸借契約が終了したことに伴う賃貸料収入の減収が影響し、売上高は前期比3百万円減収( $\Delta 2.0\%$ )の162百万円となりました。

**セグメント利益**：売上高は減少したものの、売上原価が減少したことにより、前期比13百万円増益(+14.6%)の103百万円となりました。

## 【土木・建設資材事業】

**売上高**：バイオマス火力発電所への燃料投入業務受託は堅調に推移したものの、ポゾテックやコールサンド等の建設資材販売のほか、土木工事受注が伸び悩み、売上高は前期比26百万円減収( $\Delta 7.8\%$ )の315百万円となりました。

**セグメント利益**：売上高及び利益率の低下により、前期比20百万円減益( $\Delta 34.0\%$ )の40百万円となりました。

## 2. 2024年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

|                     | 2024年予想 | 2023年実績 | 増減   | 増減率    |
|---------------------|---------|---------|------|--------|
| 売上高                 | 6,700   | 6,406   | 293  | 4.6%   |
| 営業利益                | 630     | 888     | △258 | △29.1% |
| 経常利益                | 620     | 891     | △271 | △30.4% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 430     | 463     | △33  | △7.3%  |

※ 上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる場合があります。

### 3. 業績推移

#### 連結(通期)

(単位:百万円)

|                     | 2020年 | 2021年  | 2022年 | 2023年 | 2024年<br>予想 |
|---------------------|-------|--------|-------|-------|-------------|
| 売上高                 | 4,616 | 5,754  | 5,732 | 6,406 | 6,700       |
| 営業利益                | △461  | 34     | 763   | 888   | 630         |
| 経常利益                | △348  | 202    | 820   | 891   | 620         |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | △633  | △1,477 | 428   | 463   | 430         |

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年以降の連結(通期)業績推移については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。



## 4. 2023年12月期期末配当の件

当社は、株主に対する安定的な配当を経営の重要政策の一つとしており、1株当たり9円の期末配当を実施する予定としております。

なお、2023年12月期第2四半期末(中間期末)におきまして、中間配当として1株につき5円の配当を実施しております。また、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

|        | 2019年                             | 2020年 | 2021年              | 2022年                | 2023年                |
|--------|-----------------------------------|-------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 第2四半期末 | 7円00銭<br>普通配当5円00銭<br>特別配当2円00銭   | 0円00銭 | 2円00銭<br>普通配当2円00銭 | 3円00銭<br>普通配当3円00銭   | 5円00銭<br>普通配当5円00銭   |
| 期 末    | 7円00銭<br>普通配当6円00銭<br>特別配当1円00銭   | 0円00銭 | 2円00銭<br>普通配当2円00銭 | 9円00銭<br>普通配当9円00銭   | 9円00銭<br>普通配当9円00銭   |
| 年 間    | 14円00銭<br>普通配当11円00銭<br>特別配当3円00銭 | 0円00銭 | 4円00銭<br>普通配当4円00銭 | 12円00銭<br>普通配当12円00銭 | 14円00銭<br>普通配当14円00銭 |

## 5. 2024年の取り組みについて



### 【遊園地事業】

#### ①グリーンランド遊園地(九州)

新規アトラクション導入により、「日本一のアトラクション数を誇る遊園地」としての魅力をさらに拡大するとともに、夏季のプール営業ならびに当園でしか体験できない多彩なイベント展開により、一層の集客に取り組んでまいります。

#### ■新規アトラクション「サブマリンシューティング」 3月13日(水)オープン予定

海底をテーマとした、水鉄砲でターゲットを狙うウォーターシューティングライドです。

#### ■春のイベント

##### 1. 「ニコニコ動画と初音ミクのキセキ」

期間:3月16日(土)~5月26日(日)

計72日間

若者層を中心に国内外で人気が高いバーチャルシンガー「初音ミク」の生誕16周年を記念したフロアイベント。人気の楽曲や関連フィギュア展示のほか、臨場感ある「イマーシブ映像」上映やオリジナルグッズ・コラボ飲食メニュー販売など、ファンにとって魅力的なコンテンツを多数ご用意いたします。

##### 2. 「仮面ライダーガッチャード バトルステージ」

期間:3月16日(土)、17日(日)、20日(祝)、23日(土)、24日(日)、25日(月)、29日(金)、30日(土)、

31日(日)・4月1日(月)、2日(火)、6日(土)、7日(日)、14日(日)、21日(日)、27日(土)、28日(祝)、

29日(祝)・5月4日(祝)、6日(振休)、12日(日)、19日(日)、25日(土)、26日(日)

計24日間

◆上記以外にも、人気のキャラクターショーならびに話題性の高いイベントを適時開催予定

■「HANABIフェスティバル」(2回開催) 3月23日(土)・3月30日(土)

■「プリキュアオールスターズがやってくる！」 5月3日(祝) (予定)

■「ウルトラマンブレーザーSPショー」 5月5日(祝) (予定)

■GW打上花火ショー 5月3日(祝)・4日(祝)・5日(祝)

■令和ライダー集合イベント 5月26日(日)

## 【遊園地事業】

### ②北海道グリーンランド遊園地

#### ■春イベント

##### ◆バラエティに富んだキャラクターショー開催

- ・「ウルトラマンブレーザー」ショー
- ・「すみっコぐらし」ショー
- ・「仮面ライダーガッチャード」ショー
- ・「わんだふるぷりきゅあ！」ショー
- ・「爆上戦隊ブンブンジャー」ショー

##### ◆北海道で活躍するアイドル大集結「グリーンランドフェスティバル」

#### ■夏～秋イベント(予定)

- ・子ども達に人気のキャラクターショー開催
- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE 2024」(ジョインアライブ)
- ・大規模花火大会を3回開催
  - 「いわみざわ彩花まつり花火大会(7月)」・「いわみざわ公園花火大会(8月)」・
  - 「タマホームスペシャル花火物語(9月)」
- ・そのほか、「声優トークショー」などバラエティに富んだイベントにより集客を図ります。

### ③いわみざわ公園「バラ園」・「パークゴルフ場」

- 夏・秋のバラの見ごろに合わせて、「ローズフェスタ」を開催するとともにインバウンド客獲得に注力
- 好評な「レディースデー」に加え、「夫婦の日」設定による利用促進を図る
- そのほか、新たな公園の指定管理業務受託に向けた取組み

## 【ゴルフ事業】

- 荒尾市、大牟田市、広川町(久留米市)の3つのゴルフ場において、各コースが持つ特性をPRしながら、3ゴルフ場を持つスケールメリットを活かした集客施策を打ち出していく。
- 「グリーンランドリゾートゴルフコース」では、多彩なオープンコンペを開催するとともに、競技大会開催に向けた練習ラウンドでの利用促進等で集客拡大を図る。  
また、新たな送客エージェントとの契約締結により、好調な韓国からのプレーヤー利用拡大を図る。
- 「大牟田ゴルフ場」ならびに「広川ゴルフ場」の両メンバーシップコースでは、コロナ禍以前の状況へと回復した大型ゴルフコンペの獲得に注力する。  
特に、今年開場50周年を迎えた「大牟田ゴルフ場(有明カントリークラブ)」においては、記念コンペの開催等によりメモリアルイヤーを盛り上げ、集客拡大を図る。
- ゴルフカートのコース内乗り入れサービスによるプレー環境の快適性ならびに利便性の高さをPR。
- 新たな太陽光発電装置の設置により運営コスト削減を図るとともに、適正な緑地管理によるCO2吸収効果の促進、プラスチックゴミ削減など、引き続き、環境に配慮したSDGsへの取り組みに注力。
- カート道路補修や樹木の伐採・剪定など、コース整備に鋭意取り組み、利用満足度向上に注力する。

## 【ホテル事業】

### ①ホテルブランカ・ホテルヴェルデ

#### 【ホテルブランカ】

- ・遊園地、プール、ゴルフ場に隣接する利便性の高さや宿泊特典等のオフィシャルホテルとしての強みを打ち出した集客施策に取り組む。
- ・広さや和・洋室など、客室の特性を活かした細やかなルームコントロールにより、ゴルフプレーを中心にニーズが高まっている、インバウンド宿泊客の着実な取り込みに注力する。
- ・特色ある鍋バイキングや遊園地を望む中庭でのバーベキューを中心に、朝食メニュー及び昼食バイキングの充実にも取り組み、更なる利用促進を図る。

#### 【ホテルヴェルデ】

- ・自社ホームページやOTA(インターネット上の旅行会社)を活用した集客を主軸として、自社予約においては、宿泊特典を強化した高付加価値プラン提供により、更なる収益性の向上を図る。
- ・和食レストラン「小岱」では、季節の食材をふんだんに使った料理やきめ細やかなサービスを強みとして、地元客のコロナ禍からの利用回復とともにリピーターづくりに注力する。  
また、洋食レストラン「フォンターナ」においては、人気のランチバイキングのほか、スイーツバイキングやステーキバイキングなど、ホテルならではのワクワク感を打ち出してご利用促進を図る。  
また、アレルギー成分表示による安全安心の取組みのほか、地元食材の積極的な使用、食品ロス削減の取り組みなど、SDGsを意識した運営に努める。
- ・「カニ祭り」など多彩な料飲イベント開催、観覧車を望む「屋外バーベキューガーデン」、婚礼をはじめとする各種宴会など、地元で愛されるシティホテルとしての側面をしっかりとアピールして収益拡大を図る。

## 【ホテル事業】

### ②ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

#### 【ホテルサンプラザ】

- ・遊園地を中心とする各レジャー施設に近く、駅や高速道路のインターチェンジへのアクセスが良いという利便性の高さを活かし、ビジネス客や各種団体客を中心とする宿泊利用を促進する。
- ・近隣ゴルフ場と連携し、今後も増加が期待される韓国からのゴルフツアーの取り込みを図る。
- ・強みであるランチバイキングのほか、男性客、女性客など、ターゲットを絞った特色あるメニュー展開により、リピーターの拡大を図る。
- ・「沖縄ちむどんどん祭り」や「日本酒の会」などの料飲イベント開催により、ホテルの魅力をPRする。

#### 【北村温泉ホテル】

- ・自慢の「源泉掛け流し43℃の名湯」ならびに強塩泉で保温効果の高い「温まりの湯」をPRして更なる集客を図る。
- ・現代のライフスタイルに合わせた「新・湯治プラン」という、新しい温泉地の楽しみ方のご提案を行い、当施設を中心とした周辺地域の賑わいの創出に注力する。
- ・地元・岩見沢の美味しい食材を使用した「ココでしか味わえないメニュー」展開による集客。

## 【不動産事業】

・社有地の有効活用との一面に加え、遊園地を中心とするグリーンランドリゾートエリア全体の魅力増大に繋がるような、新しいテナントの誘致に注力

### ・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート「オズハウス I 番館」完成・賃貸開始

## 【土木・建設資材事業】

- ・バイオマス発電所への燃料投入業務の着実な受託
- ・ポゾテックやコールサンドなどの建設資材の販売促進
- ・当社グループの持つ情報ネットワークを活用し、新たな業務受注等を積極的に推進